

調査団報告書

No.122

調査内容

守山消防署に立つ消防士の像について由来が知りたい。
像の作者の来歴や、その他の作品も知りたい。

調査手順

守山消防署の歴史を『消防三十年のあゆみ』で調べると、「消防像」について、「昭和47年4月守山消防署が改築された記念に制作寄贈を受けた」と記述がありました。

作者は「彫刻家 後藤白童氏」とあり、彼について資料を探すと『ある彫刻家の記録』に来歴や作品に関する情報の記載がありました。

後藤白童氏は静岡県出身で、守山に暮らしました。16歳の時に、関東大震災が原因で聴力を失いますが、その後、彫刻家を志します。仏像を中心に数多くの作品を掘り続け、生涯を通じ22回も日展（日本美術展覧会）入選を果たしました。

彼の他の作品には名古屋城前にかつて立っていた樹齢400年の大樹モッコクから彫り出した「モッコクの精」や、愛知県美術館所蔵の「七面鳥」、故郷である静岡県の河津に立つ「曾我兄弟銅像」といった彫刻があります。



調査結果

消防士の像は、守山ゆかりの彫刻家によって制作・寄贈された作品でした。

今回の調査で使った資料

- 『[名古屋市守山区]消防三十年のあゆみ』名古屋市守山消防署発足30周年記念誌
編集委員会／編集 名古屋市守山消防署発足30周年記念誌編集委員会 1993
- 『ある彫刻家の記録』吉田豊作, 中紙要 後藤白童工房 1983
- 『愛知県美術館所蔵作品目録』愛知県美術館／編集 愛知県美術館 1993
- 『中部読売新聞』1985年1月22日朝刊
- 『朝日新聞』1998年2月25日夕刊 ・『中日新聞』1998年2月26日朝刊

